

第1回定例会  
3月4日から17日

## 「池田中学校改築」 事業を可決

平成23年第1回定例会は3月4日から17日まで開かれました。町長（4件）から行政報告があり、町長と教育委員長から、新年度の町政・教育執行方針が示されました。本定例会では条例改正、過疎・辺地計画に関する件、意見書4件、予算審査特別委員会（三坂一茂委員長）に付託した新年度予算、22年度補正予算の審議を行い、原案通り可決しました。一般質問は5議員が7項目について行いました。

### 一般会計予算は大幅に増加

23年度の一般会計は前年度比37・9%増の82億4871万円で4特別会計・3公営企業会計を合わせると、総額152億8430万円で前年度比25・0%の大幅増加です。

主な事業としては、

- 町立病院改築事業で本体建築と医療機器などに16億8331万円
- 町立病院職員の退職に係る退職手当組合追加負担金2億4844万円
- 池田町病院事業指定管

### 一般会計予算は大幅に増加

理者業務経営健全化交付金1億1000万円  
○池田中学校改築事業13億7049万円  
○9丁目団地公営住宅整備事業（2棟4戸）6720万円  
○旧ふるさと銀河線軌道跡地整備工事1400万円

- 幹線林道富岡姉別川線改良事業1951万円
- 利別本町6号通整備事業1300万円
- 有線テレビ施設撤去事業7395万円
- 水槽付消防ポンプ車購入3269万円
- 除雪トラック購入費

### 22年度追加補正予算を可決

国の補正予算可決による、地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）978万円の追加交付（補正前交付決定額1124万円、補正後2101万円）に伴う繰越明許費の変更と12月定例会以降の寄付金の予算化のほか、事業終了などによる補正、23年度の池田中学校改築事業に伴う繰越明許費の追加、また債務負担行為（池田町農業経営基盤強化資金利子補給金）の変更、地方債

- 3825万円  
ブドウ・ブドウ酒事業では、
- ステンレスタンクやラベラーなどの更新に5418万円
- 水道事業では、
- 水道石綿セメント管更新事業で1億3530万円

（過疎対策事業）の限度額変更などの一般会計のほか、4会計の補正予算を審議し可決しました。

### 定住自立圏形成協定締結へ条例を改正

「定住自立圏構想推進要綱」により帯広市が22年12月15日、中心市宣言を帯広市議会に提案し、可決されました。

十勝全体でこの圏域形成に取り組みます。

帯広市には中心市としての都市機能が集積、確保されているとし、本町は周辺町として連携します。

また、本町から帯広市に通勤・通学する割合が0・1以上（管内7町村が該当します）であることなどから、定住自立圏形成協定の締結などについて議会議決を要するための条例改正です。



池田中学校改築後のイメージ図

## 過疎地域自立促進市 町村計画の変更

22年度から27年度までの計画期間における乳幼児医療費給付事業について「乳幼児医療給付事業」の名称を「子ども医療給付事業」と変更します。中学生までの医療費の保険診療にかかる自己負担分の無料化を進めるための変更です。

また信取・美加登地域のコミュニティ推進を目的に集会施設を改築整備するため、地域の建設委員会に対して信取・美加登会館施設等整備補助金を追加しました。

地域の活動拠点である各地区コミュニティセンターの維持補修事業計画の追加による変更について、北海道知事との協議が2月18日に整い、過疎地域自立促進計画の変更を行うことを可決しました。

## 公共的施設にかかる 総合整備計画の変更

21年度から25年度までの計画期間に大森地域のコミュニティなどを推進するため、同地域の老人会館改修整備について、総合整備計画を変更することを可決しました。

## 町道の廃止と認定に 関する件

旧公営住宅利別第4団地跡地を整備することに伴い、利別本町6号通を道路法の規定により廃止し、利別1番通から利別2番通へ連絡する道路として同法の規定により認定しました。

同様に、高島37号線常盤旭5号線、近牛高台3号支線から大森9線沢1号支線の10路線は公共性があり、町道と接続している側道であるとして、町道として認定しました。

## 第1回臨時会

(1月21日)  
子宮頸がん予防ワクチンの追加助成など可決

子宮頸がん予防、ヒブ(インフルエンザ菌b型)、小児用肺炎球菌のワクチン助成方式を、接種委任方式(医療機関委託)に予算を組み換えるなど、一般会計補正予算と、報告1件・一般議案1件を可決しました。

## 第2回臨時会

(2月15日)  
子ども医療費の助成に関する条例など可決

ことし4月から、子どもの医療費を中学卒業まで無料化する条例や、新規就農者支援としての営農資金・農地賃借料の補助期間を延長する一部改正条例、また補正予算など、18件の議案を可決しました。

# 一般質問

## 有線テレビ放送施設

施設の撤去は何年でどのようにするのか  
優先順位を付け、設備など5年で撤去する

森田議員 町営有線テレビ放送が終わることによって、町内に張り巡らされた同軸ケーブル、電柱や支柱、支線の撤去が必要だ。

何年計画でどのように進めるのか。  
勝井町長 5年間で撤去する計画で、おおむね2億7000万円を見込んでいます。

北電柱、NTT柱に共架する設備は共架料がかかるため、23年度から25年度に撤去する。

町有柱のうち、畑の中に建てた物は地権者や耕作者の皆さんと協議し進める。

## 図書館移転計画

検討内容とバスの待合所機能の対応は  
図書館と待合所機能は別に考える

森田議員 図書館移転の検討内容は、また図書館の横からスクールバスに乗り降りする児童、生徒への対応は。

萬教育委員長 旧勤労青少年ホームには、広いスペースがある。図書館とバスの待合所機能は別だが、乗り降りは池田小前、待合所を校内に置くことを考えている。

## 給食センター

過去3年間の保健所の調査結果は  
一部を除き、基準を満たしている

窪田議員 過去3年間、保健所の給食セン

ターへの調査結果内容はどうなっているのか。築後28年と老朽化した施設の改築を急ぐべきではないか。

萬教育委員長 過去3年間の調査では「温度・湿度管理ができない。床に適度な勾配があり、適切に排水できるか」の項目を除き、基準を満たしている。

勝井町長 施設整備を必要と認識しているが、財政推計を見極めながら検討したい。

(このほか「財政運営について」を質問しました)

## 新町立病院

人工透析の体制づくりが必要では  
現状では難しいが、協議を重ねたい

永田議員 現在、町内に人工透析患者が約20人ほどいるといわれている。患者の皆さんは透析を受けるため、帯広や隣町までの通院を余儀なく

されている。10月に開院する新病院では、将来に向けて人工透析が受けられる体制づくりが必要ではないか。

勝井町長 現状では人工透析の導入は大変難しい状況だが、将来に向けて指定管理者と協議を重ねていきたい。

## 清見ヶ丘公園

未来へと引き継ぐ柏の植樹が必要では

景観の保持に努め、良好な環境を守りたい

合掌議員 本町の歴史を見守ってきた柏の大木も長年の疲れで枝が折れやすくなっている。景観が悪化し、また、下を歩く皆さんに落ちると非常に危険である。この柏の森、清見ヶ丘公園を未来へと引き継ぐ植樹が必要ではないか。

勝井町長 公園全体の樹種や形態を維持するには枯れた木を伐採し、スペースを確保しながら植

## 平成23年度予算審査特別委員会

平成23年度各会計予算審査特別委員会(三坂一茂委員長、議長を除く委員12人)は、3月14日から16日の3日間、23年度の予算を審査しました。

審議の結果、一般会計を含め、全9会計について、付帯意見を2項目付け、可決しました。質疑のうち主なものをQ&A形式でお伝えします。

## 一般会計(歳出)

Q町営有線テレビケーブルの撤去について、耕作地の対応は。  
A北電・NTTの電柱に共架しているケーブルを優先して撤去し、耕作に支障がある場所については検討したい。

Q北部地区に生活館とコミセンがある、整合性は。  
A生活館は老人クラブなどが利用している。市街地区であり高齢者が利用しているが、検討する。

Q任意予防接種料は受診所により価格が違う。補助は定額か定率か。  
A2分の1の定率として

Q資源ごみ回収の方法が変わるが町民への周知期

間が短いのでは。  
A広報2月号、出前講座でも行なっているが周知期間が短かったと思う。

Q有害駆除のエゾシカ対策は。近隣町村との比較も必要では。  
A農協・行政・農業者の3者の連携が必要である。農政協に部会を設ける。農政協に部会を設ける。進めたい。

Qふるさと銀河線跡の大森地区での事業内容は。  
A土床を低くして畑地から出入りしやすくする作業道の設置である。

## 図書館移転計画

検討内容とバスの待合所機能の対応は  
図書館と待合所機能は別に考える

森田議員 図書館移転の検討内容は、また図書館の横からスクールバスに乗り降りする児童、生徒への対応は。

何年計画でどのように進めるのか。  
勝井町長 5年間で撤去する計画で、おおむね2億7000万円を見込んでいます。

北電柱、NTT柱に共架する設備は共架料がかかるため、23年度から25年度に撤去する。

町有柱のうち、畑の中に建てた物は地権者や耕作者の皆さんと協議し進める。

Q町営有線テレビケーブルの撤去について、耕作地の対応は。  
A北電・NTTの電柱に共架しているケーブルを優先して撤去し、耕作に支障がある場所については検討したい。

Q北部地区に生活館とコミセンがある、整合性は。  
A生活館は老人クラブなどが利用している。市街地区であり高齢者が利用しているが、検討する。

Q任意予防接種料は受診所により価格が違う。補助は定額か定率か。  
A2分の1の定率として

Q資源ごみ回収の方法が変わるが町民への周知期

間が短いのでは。  
A広報2月号、出前講座でも行なっているが周知期間が短かったと思う。

Q有害駆除のエゾシカ対策は。近隣町村との比較も必要では。  
A農協・行政・農業者の3者の連携が必要である。農政協に部会を設ける。農政協に部会を設ける。進めたい。

Qふるさと銀河線跡の大森地区での事業内容は。  
A土床を低くして畑地から出入りしやすくする作業道の設置である。

Q清見ヶ丘パークゴルフ場の改修時期は。  
A秋の工事になる。場所によっては春先、芝の養生期間となる。

## 図書館移転計画

検討内容とバスの待合所機能の対応は  
図書館と待合所機能は別に考える

森田議員 図書館移転の検討内容は、また図書館の横からスクールバスに乗り降りする児童、生徒への対応は。

何年計画でどのように進めるのか。  
勝井町長 5年間で撤去する計画で、おおむね2億7000万円を見込んでいます。

北電柱、NTT柱に共架する設備は共架料がかかるため、23年度から25年度に撤去する。

町有柱のうち、畑の中に建てた物は地権者や耕作者の皆さんと協議し進める。

Q町営有線テレビケーブルの撤去について、耕作地の対応は。  
A北電・NTTの電柱に共架しているケーブルを優先して撤去し、耕作に支障がある場所については検討したい。

Q北部地区に生活館とコミセンがある、整合性は。  
A生活館は老人クラブなどが利用している。市街地区であり高齢者が利用しているが、検討する。

Q任意予防接種料は受診所により価格が違う。補助は定額か定率か。  
A2分の1の定率として

Q資源ごみ回収の方法が変わるが町民への周知期

間が短いのでは。  
A広報2月号、出前講座でも行なっているが周知期間が短かったと思う。

Q有害駆除のエゾシカ対策は。近隣町村との比較も必要では。  
A農協・行政・農業者の3者の連携が必要である。農政協に部会を設ける。農政協に部会を設ける。進めたい。

Qふるさと銀河線跡の大森地区での事業内容は。  
A土床を低くして畑地から出入りしやすくする作業道の設置である。

Q清見ヶ丘パークゴルフ場の改修時期は。  
A秋の工事になる。場所によっては春先、芝の養生期間となる。

## 新町立病院

人工透析の体制づくりが必要では  
現状では難しいが、協議を重ねたい

永田議員 現在、町内に人工透析患者が約20人ほどいるといわれている。患者の皆さんは透析を受けるため、帯広や隣町までの通院を余儀なく

ある。  
Q郷土資料館の今後は。  
A現状を維持し、新たな展開は考えていない。田園ホールロビーを利用し、資料の一部を展示できないか考えている。

Q遊ゆう大学の講演で内容によっては学生以外にも受講希望者がいるが。  
A受講料徴収などの方法により可能な場合もあり、大学と協議したい。

Q女性フェスティバル補助金は講師も呼べない金額である。  
A増額は難しいが、町と協議し使用できる助成事業などがあれば対応したい。

Q図書館の移転について、町民の意見が十分反映されていないのでは。  
A説明会・アンケートの集約を行なったが、参加者が少ない。施設の充実を第一に考え、社会教育委員会・教育委員会を経

# 委員会リポート

## 総務産業

### 地域防災計画の見直しについて

5年ぶりの全面改定となる。これまでは1編構成だったが、今回は「本編」「地震防災計画編」「資料編」の3編構成に修正された。

- その概要は、
- ①災害時に即応できる防災体制の確立
  - ②災害時要援護者への支援と自主防災組織の育成強化（重要な位置づけとされている）
  - ③事業所の基本的責務を明確化
  - ④避難計画および避難所の見直し
  - ⑤町および防災関係機関の所管部署の見直し

防災会議に帯広測候所、北海道運輸局帯広運輸支



利別町内会の自主防災訓練（19年9月）

局、池田建設業協会、池田町水道協会が新たに加わり、計25の関係機関で構成。

避難体制整備では、①一時避難場所、避難所をそれぞれ見直した②大雨に伴う避難指示、勧告時の避難所の記載③福祉避難所を新たに指定。池田光寿会と協定を結び、地域の拠点的な福祉避難所として2カ所を新たに指定

新年度計画では、広報紙などで町民への周知、防災啓もう活動の実施、自主防災組織の活動推進などがある。

### 住みよい町づくりプロジェクトについて

第4次総合計画は23年度を初年度として32年度までの10年間の計画であった。新たな施策に積極的に取り組んでいくとの提案説明があった。

「特に本町は、十勝管内においても少子化の進行が著しく、高齢化率も高いことから、若い世代の定住対策と高齢者が安心して暮らせる生活環境の整備を早急に進める必要がある」との観点から、主要課題として、住みよい町づくりプロジェクトチームを発足した。

3つの検討部会（子育て支援、住宅政策、コミュニティ）からなり、それぞれの課題を整理し、検討事項として協議、推進管理、検証することとしている。

療費無料化事業（23年第2回臨時会で条例改正を可決済み）。コミュニティ部会では自主防災の事業費を見込んでいく。総額で2783万円余り。継続検討事業として6

事業ほどあり次年度以降の課題として取り組むと説明を受けた。いかにして出生率を伸ばすのかが大きな課題であり、20歳から30歳代の子育て世代の定住促進を図るとともに、高齢者世代に対する施策を充実するなど、このプロジェクトに課せられた責務は大変重い。

人口が減少する中、住みやすい町づくりに向け、画期的な施策に取り組み、計画最終年度の平成32年度、目標人口6800人をいかに下回らないかが大きな課題である。

## 水道事業会計

水道料金の見直しを行うなどの案。

審議会にはかり12月議会に提案したい、値下げの方向で検討している。

委員会はこれらの審議を踏まえ、次の2項目にわたる付帯意見を付け、原案を可決しました。

- ① 池田町立図書館施設の今後のあり方については、利便性、規模及び機能を明確に示し、慎重かつ十分な審議を経て、理解が得られるまで関連予算の執行を行わないこと。
- ② 池田町第4次総合計画に基づく実施計画を早急に示し、それらを機軸とした各種個別計画を精査し、政策の整合性を図り、議会及び住民に明確な説明ができるようにすること。

て、旧勤労青少年ホームへの移転を決めた。

東北地方太平洋沖地震では、多くの人が亡くなり、家を失うなど甚大な被害だ。本町の対応は、災害用の備蓄物資があり、要請があれば対応できる。空いている公営住宅の提供も可能。

## 全体質疑（一般会計）

地区コミセンと町内会館の建設・改修補助金は差があり、不公平ではないか。

学校統合に伴い地区コミセンと位置づけた施設について、統合の経過を踏まえ配慮した。

## ブドウ・ブドウ酒 事業会計

厳しい情勢にどう対処するのか。経費削減も限界ではないか。

難しい課題だ。キャンペーンなどを実施し、観光客を呼びたい。また、トカッポの販売に力を入れたい。

## 文教厚生

### 発達支援センター及び子どもセンターについて

本委員会は2月25日、両センターの現地調査を実施し、それぞれの説明を受けた。

発達支援センターでは、保育園や学校、医療機関などと連携し、子どもの発達について相談に



発達支援センターで説明を受ける委員

また親子の関わりや育児情報の交換の場として、しつけの仕方や遊び方を伝えている。さらに池田保育園の協力を得て、ホールやグラウンドの開放・給食試食会など、保育園や園児との交流も実施している。

子どもセンターでは、センターの開放を実施し、保育園や幼稚園に通っていない未就学児と保護者の子育てを支援している。また親子の関わりや育児情報の交換の場として、しつけの仕方や遊び方を伝えている。さらに池田保育園の協力を得て、ホールやグラウンドの開放・給食試食会など、保育園や園児との交流も実施している。



池田町校長会によるプラネタリウム鑑賞会（北部地域）

### 子ども夢事業について

21年度に採択された事業は、町主催事業を除く3件で、交付・補助金総額は、46万1393円となった。

内訳は、交付金事業1件（14万4005円）、補助事業2件（31万7388円）である。

町主催事業は1件（210万円）で、文化講演会を開催した。22年度に実施した事業の内容は下表のとおりである。事業を継続させるためには、基金の積み立ても必要である。

### 22年度子ども夢事業実施内容

審査日	申請者	事業名	事業内容
4月30日	こども祭りinいけだ実行委員会	補助事業・人材育成事業	「こども祭り2010 in いけだ」の開催。「職育 <sup>しょくいく</sup> 」をテーマに、職業体験によるこどもの育成を図る。
5月26日	池田町校長会	交付金事業・学校等企画事業	町内小中学校5校による絵本原画展の開催。剣淵町「絵本の館」から原画を借り受け展示
6月14日	高島小学校	交付金事業・学校等企画事業	小学校1～4年生を対象とした自然体験学習。十勝ネイチャーセンターの協力による川下りや化石観察などの体験
8月5日	株式会社ドリームワーク	補助事業・人材育成事業	「リコーダーとチェンバロによるバロックコンサート」の開催。音楽に触れる機会を子どもたちに提供。
10月21日	池田町校長会	交付金事業・学校等企画事業	町内の小中学校や保育園などを対象とした移動式プラネタリウムによる日周運動や星座の学習。2カ年事業で、22年度は高島地域の児童生徒、園児を対象に実施。
11月26日	池田中学校美術部	補助事業・独自事業	池田中学校と池田高校の美術部が合同で、池田中学校正面階段の側面にアートを制作。

平成23年2月25日現在、補助金・交付金総額：151万4851円

# 議会の主な動き

(12月開会の第4回定例会以降)

- 12月8日 第4回定例会(行政報告)  
第8回議会広報特別委員会  
第10回文教厚生常任委員会
- 11日 池田中学校地域公開授業参観日[議長]
- 15日 第4回定例会(一般質問)  
第11回文教厚生常任委員会
- 16日 第4回定例会(議案審議)
- 22日 第9回議会広報特別委員会
- 平成23年
- 1月5日 池田消防団出初め式[議長ほか]
- 6日 新年交礼会[議長ほか]
- 9日 成人式[議長ほか]
- 14日 フードバレー構想並びに定住自立圏構想に関する説明報告会[議長]  
市町村行政懇談会および新年交礼会[議長]
- 21日 第1回臨時会

- 2月2日 十勝林活連絡会議[研修会][町林活議連会長]
- 8日 卒業記念・思い出バイキング給食(高島小)[文教厚生副委員長]
- 15日 第2回臨時会  
第1、2回総務産業常任委員会  
※第1回は文教厚生常任委と合同開催。  
第1回文教厚生常任委員会
- 17日 池田町農村女性の日[総務産業委員長]
- 18日 第2回町民ワイン会
- 22日 十勝中部広域水道企業団議会事前説明[議長]
- 24日 卒業記念・思い出バイキング給食(利別小)[文教厚生委員長]
- 25日 第2回文教厚生常任委員会  
十勝町村議会議長会定例会・懇談会[議長]
- 28日 一部事務組合議会定例会[議長]
- 3月3日 「遊ゆう大学」卒業式・修了式[議長]

## 意見書

4件を関係機関に送付

◇平成23年度畜産物価格決定等に関する要望意見書(要旨) 提案者 森田悦典議員  
 北海道の畜産は、安全・安心など重要な役割を果たしているが、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉への参加問題など、わが国の市場開放をめぐる危機的な状況にある。食料供給を支える北海道の畜産が発展するためには、生産基盤の強化、防疫対策等を積極的に推進することが不可欠である。畜産の持続的な発展に向け、総合的な政策を推進するよう要望する。

◇介護保険制度への公的負担を大幅に増やし、安心できる制度実現を求める意見書(要旨) 提案者 窪田豊満議員  
 介護保険制度改正案が、国会に提案される予定となっている。内容は、要支援1・2の人を自治体任せのサービスに移そうとするものなどである。ひとり暮らしなども増え、新たな公的介護体制の整備は急務である。「負担あって介護なし」の実態を一層深刻化している。よって、政府に対し、公費負担の引き上げやサービス利用料等減免制度の拡充を図るなど、求める。

◇住民の安全・安心な暮らしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書(要旨) 提案者 窪田豊満議員  
 政府は「地域主権戦略大綱」で国の出先機関原則廃止の方針を打ち出した。交通運輸行政は二重行政とはなっていない。安全・安心な交通と運輸を確保するために、地方運輸局の充実こそ必要である。交通運輸行政を確立するため地方運輸局を充実し、また北海道の交通・運輸行政を充実するために、運輸支局を拡充することなどの実現を要望する。

◇地域医療存続のための医師確保に関する意見書(要旨) 提案者 永田 憲議員  
 「新医師臨床研修制度」により、医師の地域偏在が進み、地方で勤務する医師の不足が深刻な状況になっており、医師の勤務状況が過酷になるとともに、病院経営も困難な状況にある。地方の医師不足と医師の偏在を解消する施策を講ずるよう求める。医師不足や偏在の解消を図るため、医師不足地域での数年間の勤務義務など、法的措置を講ずること。

あと書き

平成11年8月、広報研修で東京に行く。町民には知る権利が、議員には知らせる義務がある。このことを基本とした3回目の任務が4月で終わる。◆議会だよりは平成4年に発行し、12年7月の第34号から「かけはし」と名前を変えた。ことしで19年になる。◆昨年は猛暑で作物の収量が減った。3月になり農家の皆さんは、ハウスの額に汗してビートの収穫を行っている。秋張っている。◆3月11日午後、東北から関東地方にかけて巨大地震が起きた。東京電力の福島第1原発が爆発を起し、安全神話が崩れた。◆本町の防災対策は万全か、町民には知る権利がある。

郷司 明